

東北支部

支部長 木村祐輔

平素より東北支部の活動にご協力頂き心より感謝申し上げます。今年は昨年から延期となっていた東北支部大会を、オンラインにより開催することができました。新型コロナウイルス感染拡大による混乱の中にあって、主催頂きました福島県の坪井病院の皆様をはじめ、ご参加いただいた多くの方々には心から御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの状況は、このレターを執筆している7月27日現在、全国の感染者数は増加の一途を辿っています。様々な混乱の中始まったオリンピックが、この後に、東京そして日本全国にどのような影響をもたらすのか不安は尽きませんが、一方で、連日の選手の活躍に胸を熱くしているのは私だけではないでしょう。このニューズレターが皆様の目に止まる9月には、オリンピック・パラリンピックが無事に終了し、かつ感染状況が安定に向かっていることを切に祈ります。

新型コロナウイルスは、終末期の方々の療養の仕方やご家族との過ごし方などに大きな影響を与えて続けています。最期の大切な時間を、大切な方々と静かに過ごすことができる日常が1日も早く戻ることを願いつつ、目の前の患者さんとご家族の支援を、チームの輪を持って丁寧に続けていきたいと思えます。

【2021年度活動報告】

2021年度は、新型コロナウイルス拡大を受けて延期していた東北支部大会を、5月30日（土曜日）に、オンラインによって開催することができました。大会では、今田かおる先生（福島県）の作成された映画『おみおくり～Sending Off～』の鑑賞と今田先生よりご講演を頂きました。福島県猪苗代町の自然豊かな環境の中で継続される在宅療養の様子、そしてそれぞれのご自宅におけるお看取りまでを、静かに、そしてとても優しい視線で記録された映画でした。支部大会には一般の方も含め80名を超える方にお集まりいただき、多くの方々から感銘を受けたとのお声を頂きました。

今年度後半には、東北支部としてのニューズレターの発行を予定しています。12月までには年会費の振り込み用紙も同封して郵送いたしますので、年会費の納入もどうぞよろしくお願い申し上げます。年会費を2年間未納入の方は退会となりますのでくれぐれもお気をつけください。

【2022年度活動計画】

・東北支部大会：2022年5月に三友堂病院（山形県）の主催で東北支部大会を行う予定です。開催方法は対面式を基本としつつ、感染状況によっては再びオンライン開催となるかもしれません。近くなりましたら詳細をご連絡いたします。

・例年通りニューズレターの発行を予定いたします。

【東北支部入会の問い合わせ】

本会の目的は、死の臨床において患者さんやご家族への真の援助の道を全人的立場から考えていくことです。関心のある方はどなたでも入会を歓迎いたします。入会手続きにつきましては、お気軽に下記事務局までご連絡ください。支部入会金、並びに支部年会費ともに1000円です。

【日本死の臨床研究会 東北支部事務局】

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通2丁目1-1

岩手医科大学附属病院緩和医療学科

電話：019-613-7111（代表）

FAX：019-907-8468

担当：木村・川村